

津波避難対策に関する調査（都道府県用）（案）

団体名	
所属名	
担当者名	
電話番号	
E-mail	

【調査の概要】

1 調査目的

この調査は、「平成 24 年度津波避難対策推進マニュアル検討会」（事務局：消防庁）において、全国の地方公共団体における津波避難対策の現状等を把握し、津波避難計画策定の指針・マニュアル等の検討を行う上で参考とするものです。

2 調査対象時点

平成 24 年 8 月●日（ただし、設問に調査時点を明記している場合はそれによる）

3 調査対象

津波被害が想定される都道府県（●●団体）

※以下の設問で出てくる「震災」とは、「東日本大震災」のことを言います。

【1. 地域防災計画への記述】

問 1 地域防災計画における津波対策のうち、以下（1）～（9）の項目について、それぞれア～ウの中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

	震災前から記述	震災を踏まえて記述	記述なし
(1)地域防災計画津波対策編の有無	ア	イ	ウ
(2)想定される津波の適切な設定 (最大クラスの津波の設定)	ア	イ	ウ
(3)津波に強いまちづくり	ア	イ	ウ
(4)防災知識の普及、訓練	ア	イ	ウ
(5)津波警報等の伝達や避難誘導体制などの整備	ア	イ	ウ
(6)津波監視体制の整備	ア	イ	ウ
(7)通信手段の確保	ア	イ	ウ
(8)職員の非常参集体制の整備	ア	イ	ウ
(9)関係機関等との連携体制の整備	ア	イ	ウ

（→回答後、問 2 へ）

【2. 津波避難計画策定指針】

問 2 市区町村に示す津波避難計画策定指針を策定しているかについて、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア．震災前に策定し、震災を踏まえて修正した
イ．震災前に策定し、震災を踏まえて修正中
- } →付問 2－1 へ

都道府県用

- ウ．震災前に策定し、震災後は修正なし
エ．（震災以前に策定していない）震災以降に策定した
オ．（震災以前に策定していない）震災以降に策定中
カ．（震災以前に策定していない）策定していない
- 付問 2－1 へ
→付問 2－5 へ

付問 2－1（問 2 でア～オを回答した場合）津波避難計画策定指針に盛り込まれている項目について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア．津波浸水想定区域図
イ．津波避難対象地域
ウ．津波避難困難地域
エ．津波避難場所、津波避難ビル、避難路
オ．初動体制
カ．津波情報の収集・伝達
キ．避難勧告・指示の発令
ク．津波避難の方法
ケ．災害時要援護者の避難対策
コ．津波対策の教育・啓発
サ．避難訓練
シ．その他独自に盛り込んでいる項目（以下に具体的に記載してください）

（→ア～サの中で 1 つでも盛り込まなかった項目がある場合は付問 2－2 へ）

（→ア～サの全てを盛り込んでいる場合は付問 2－3 へ）

付問 2－2（付問 2－1 のア～サの中で 1 つでも盛り込まなかった項目がある場合）盛り込まなかった理由について、以下に記載してください。

（→回答後、付問 2－3 へ）

付問 2－3 津波避難計画策定指針に盛り込まれている内容のうち、車避難の記述について、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア．記述している →付問 2－4 へ
イ．記述していない →問 3 へ

付問 2－4（付問 2－3 でアを回答した場合）車避難の具体的な記述内容について、以下に記載してください。

(→回答後、問3へ)

付問2－5（問2でカを回答した場合）津波避難計画策定指針を作成していない理由について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 過去に津波が発生していないため
- イ. 防災担当職員の技術不足で対応できないため
- ウ. 防災担当の人員不足で手が回らないため
- エ. 津波が発生するような地震を想定していないため
- オ. 緊急度や優先度が高い他の防災対策があるため
- カ. 地理的条件から津波浸水想定区域がないため
- キ. 緊急度や優先度の高い防災対策以外の事業があるため
- ク. 津波浸水想定区域はあっても砂浜や防風林だけで被害が発生しないため
- ケ. その他（以下に具体的に記載してください）

(→回答後、問3へ)

問3 津波避難計画策定指針の策定を推進するためにあれば良い支援について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 国が津波避難計画策定指針を作成するための技術講習会を開催する
- イ. 国が津波避難計画策定指針作成事業に対する財政支援を行う
- ウ. 国が津波避難計画策定指針の策定支援に係るマニュアル・指針を作成し、都道府県に配布する
- エ. 国が津波避難計画策定指針の参考事例を提供する
- オ. その他（以下に具体的に記載してください）

(→回答後、問4へ)

問4 貴都道府県内の市町村における津波避難計画策定を推進するにあたり、実施している支援策について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 津波避難計画を策定するための講習会を開催する
- イ. 津波避難計画策定に対する財政支援を行う
- ウ. 津波避難計画策定支援マニュアルを作成し、市区町村に配布する
- エ. 津波避難計画の参考事例を提供する
- オ. その他（以下に具体的に記載してください）

(→回答後、問5へ)

【3. 津波浸水想定区域図】

※「津波対策推進マニュアル検討報告書」（平成 14 年 3 月）では「津波浸水予測図」としていましたが、「津波防災地域づくりに関する法律」において「津波浸水想定」という用語が定義されているため、本調査では「津波浸水想定区域図」の用語を使用いたします。

問 5 津波浸水想定区域図を作成しているかについて、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 震災前に作成し、震災を踏まえて修正した
 - イ. 震災前に作成し、震災を踏まえて修正中
 - ウ. 震災前に作成し、震災後は修正なし
 - エ. (震災以前に作成していない) 震災以降に作成した
 - オ. (震災以前に作成していない) 震災以降に作成中
 - カ. (震災以前に作成していない) 作成していない
- 付問 5－1 へ
- 付問 5－2 へ

付問 5－1 (問 5 でア～オを回答した場合)直近の津波浸水想定区域図の作成手法について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 国の「津波災害予測マニュアル」（平成 10 年 3 月作成）に基づいて作成
- イ. 国の「平成 23 年東北地方太平洋沖地震による津波の対策のための津波シミュレーションの手引きについて」（平成 23 年 7 月作成）に基づいて作成
- ウ. 過去の最大津波浸水高によって作成
- エ. その他（以下に具体的に記載してください）

(→回答後、問 6 へ)

付問 5－2 (問 5 でカを回答した場合)津波浸水想定区域図を作成していない理由について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 過去に津波が発生していないため
- イ. 防災担当職員の技術不足で対応できないため
- ウ. 防災担当の人員不足で手が回らないため
- エ. 津波が発生するような地震を想定していないため
- オ. 緊急度や優先度が高い他の防災対策があるため
- カ. 地理的条件から津波浸水想定区域がないため
- キ. 緊急度や優先度の高い防災対策以外の事業があるため
- ク. 津波浸水想定区域はあっても砂浜や防風林だけで被害が発生しないため
- ケ. その他（以下に具体的に記載してください）

(→回答後、問 6 へ)

都道府県用

問6 津波浸水想定区域図を作成するためにあれば良い支援について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 国が津波浸水想定区域図を作成するための技術講習会を開催する
- イ. 国が津波浸水想定区域図作成事業に対する財政支援を行う
- ウ. 国が津波浸水想定区域図の参考事例を提供する
- エ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問7へ）

【4. 情報収集伝達手段】

問7 貴都道府県から管内の市区町村への津波情報の伝達手段について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 地域衛星通信ネットワーク等を用いた都道府県独自のシステム
- イ. 電話
- ウ. F A X
- エ. メール
- オ. ホームページ
- カ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問8へ）

【5. 津波避難訓練・防災啓発】

問8 市町村における津波避難訓練を推進するにあたり、貴都道府県で進めている事業について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 津波避難訓練を実施するための講習会を開催する
- イ. 津波避難訓練に対する財政支援を行う
- ウ. 津波避難訓練実施マニュアルを作成し、市区町村に配布する
- エ. 津波避難訓練に関する参考事例の資料を配布する
- オ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問9へ）

問9 貴都道府県で行っている津波に関する防災啓発において、特に力を入れている対象者について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 幼稚園児・保育園児
- イ. 小・中学生
- ウ. 高校生・大学生

都道府県用

- エ. 園児・児童・生徒の保護者
- オ. 災害ボランティア
- カ. 自主防災組織、自治会
- キ. 消防団員
- ク. 民間事業所関係者
- ケ. 特になし
- コ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 1 0 〜）

問 1 0 貴都道府県で行っている津波に関する防災啓発の方法について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 研修会の開催
- イ. 防災担当職員等の派遣による出前講座
- ウ. ワークショップの開催（図上訓練、タウンウォッチングを含む）
- エ. 学校の授業における講話
- オ. 学校の授業における調べ学習
- カ. e ラーニング
- キ. 東日本大震災等の津波避難に関する体験談等の冊子教材を配付
- ク. 東日本大震災等の津波避難に関する実際の体験談を聞く
- ケ. 東日本大震災等の津波襲来の映像を見せる
- コ. 津波シミュレーション結果を用いた啓発
- サ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 1 1 〜）

問 1 1 貴都道府県で行っている津波に関する防災啓発において特に力を入れている内容について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。（最大 3 つまで）

- ア. 津波災害の基礎知識（例：津波は繰り返し押し寄せるなど）
- イ. 貴都道府県の各自治体における津波到達までの避難猶予時間及び津波の高さ
- ウ. 津波避難対象地域、津波避難場所、津波避難ビル、避難経路
- エ. 主体的な避難の重要性
- オ. 日頃からの津波避難のための備え（例：非常用持出品の準備、家族会議など）
- カ. 住宅の耐震化
- キ. 家具の固定
- ク. その他（以下に具体的に記載してください）

(→回答後、問 1 2 へ)

【6. その他の津波防災対策】

問 1 2 貴都道府県におけるその他の津波防災対策のうち、以下の項目ごとに、それぞれア～カの中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

	震災前から整備			震災前は未整備		整備 なし
	震災を踏 まえて、 見直した	震災を踏 まえて、 見直し中	震災以降、 見直してい ない	震災以 降、整備 中	震災以 降、整備 中	
(1)地元マスコミとの 連携	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(2)国・都道府県、近 隣自治体との連携	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(3)自主防災組織の結 成・育成	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(4)災害時要援護者対 策	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(5)海拔表示標識の設 置	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(6)浸水高表示標識の 設置	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(7)潮位・津波観測機 器の設置	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(8)海面監視カメラの 設置	ア	イ	ウ	エ	オ	カ

(→回答後、問 1 3 へ)

問 1 3 貴都道府県における津波に関する避難標識のデザインについて、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

ア. 「防災のための図記号に関する調査検討委員会報告書」(平成 17 年 3 月)にあるデザイン
を使用している

イ. 貴都道府県が独自に採用したデザインを使用している

ウ. 特に決めていない

エ. その他 (以下に具体的に記載してください)

(→回答後、問 1 4 へ)

問 1 4 貴都道府県における観光客等への避難対策について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 避難場所標識（看板）の作成
- イ. 災害情報掲示板の設置（電光掲示板等）
- ウ. ビラの作成・配布
- エ. 観光客用津波避難計画の作成
- オ. 津波避難訓練の際に観光客に参加してもらう
- カ. 地域観光産業従事者やライフセーバー等への防災教育
- キ. オレンジフラッグなどによる視覚情報
- ク. 観光客への特別な対応は行っていない
- ケ. その他（以下に具体的に記載してください）

ご協力いただき、ありがとうございました。

津波避難対策に関する調査（市区町村用）（案）

団体名	
所属名	
担当者名	
電話番号	
E-mail	

【調査の概要】

1 調査目的

この調査は、「平成 24 年度津波避難対策推進マニュアル検討会」（事務局：消防庁）において、全国の地方公共団体における津波避難対策の現状等を把握し、津波避難計画策定の指針・マニュアル等の検討を行う上で参考とするものです。

2 調査対象時点

平成 24 年 8 月●日（ただし、設問に調査時点を明記している場合はそれによる）

3 調査対象

津波被害が想定される市区町村（●●団体）

※以下の設問で出てくる「震災」とは、「東日本大震災」のことを言います。

【1. 地域防災計画への記述】

問 1 地域防災計画における津波対策のうち、以下（1）～（9）の項目について、それぞれア～ウの中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

	震災前から記述	震災を踏まえて記述	記述なし
(1)地域防災計画津波対策編の有無	ア	イ	ウ
(2)想定される津波の適切な設定 (最大クラスの津波の設定)	ア	イ	ウ
(3)津波に強いまちづくり	ア	イ	ウ
(4)防災知識の普及、訓練	ア	イ	ウ
(5)津波警報等の伝達や避難誘導体制などの整備	ア	イ	ウ
(6)津波監視体制の整備	ア	イ	ウ
(7)通信手段の確保	ア	イ	ウ
(8)職員の非常参集体制の整備	ア	イ	ウ
(9)関係機関等との連携体制の整備	ア	イ	ウ

(→回答後、問 2 へ)

【2. 津波避難計画】

問 2 市区町村の津波避難計画（津波浸水想定区域図、避難対象地域、避難場所・避難路、初動体制、情報伝達手段、避難訓練・防災啓発の方法等を示したもの）を作成しているかについて、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください（地域防災計画の中に書かれているものも含めて結構です）。

市区町村用

- ア. 震災前に作成し、震災を踏まえて修正した
 - イ. 震災前に作成し、震災を踏まえて修正中
 - ウ. 震災前に作成し、震災後は修正なし
 - エ. (震災以前に作成していない) 震災以降に作成した
 - オ. (震災以前に作成していない) 震災以降に作成中
 - カ. (震災以前に作成していない) 作成していない
- 付問 2-1 へ
- 付問 2-5 へ

付問 2-1 (問 2 でア～オを回答した場合) 市区町村の津波避難計画に盛り込まれている項目について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 津波浸水想定区域図
- イ. 津波避難対象地域
- ウ. 津波避難困難地域
- エ. 津波避難場所、津波避難ビル、津波避難路
- オ. 初動体制
- カ. 津波情報の収集・伝達
- キ. 避難勧告・指示の発令
- ク. 津波避難の方法
- ケ. 災害時要援護者の避難対策
- コ. 津波対策の教育・啓発
- サ. 避難訓練
- シ. その他独自に盛り込んでいる項目 (以下に具体的に記載してください)

(→ア～サの中で 1 つでも盛り込まなかった項目がある場合は付問 2-2 へ)

(→ア～サの全てを盛り込んでいる場合は付問 2-3 へ)

付問 2-2 (付問 2-1 のア～サの中で 1 つでも盛り込まなかった項目がある場合) 盛り込まなかった理由について、以下に記載してください。

(→回答後、付問 2-3 へ)

付問 2-3 市区町村の津波避難計画に盛り込まれている内容のうち、車避難の記述について、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 記述している →付問 2-4 へ
- イ. 記述していない →問 3 へ

付問 2-4 (付問 2-3 でアを回答した場合) 車避難の具体的な記述内容について、以下に記載してください。

市区町村用

(→回答後、問3へ)

付問2-5(問2でカを回答した場合)市区町村の津波避難計画を作成していない理由について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 過去に津波が発生していないため
- イ. 防災担当職員の技術不足で対応できないため
- ウ. 防災担当の人員不足で手が回らないため
- エ. 津波が発生するような地震を想定していないため
- オ. 緊急度や優先度が高い他の防災対策があるため
- カ. 地理的条件から津波浸水想定区域がないため
- キ. 緊急度や優先度の高い防災対策以外の事業があるため
- ク. 津波浸水想定区域はあっても砂浜や防風林だけで被害が発生しないため
- ケ. その他(以下に具体的に記載してください)

(→回答後、問3へ)

問3 地域ごとの津波避難計画を作成しているかについて、以下の中であてはまる記号1つを○で囲んでください。

- ア. 震災前に作成し、震災を踏まえて修正した
 - イ. 震災前に作成し、震災を踏まえて修正中
 - ウ. 震災前に作成し、震災後は修正なし
 - エ. (震災以前に作成していない) 震災以降に作成した
 - オ. (震災以前に作成していない) 震災以降に作成中
 - カ. (震災以前に作成していない) 作成していない
- 付問3-1へ
- 付問3-4へ

付問3-1(問3でア～オを回答した場合)地域ごとの津波避難計画の作成について、以下の中であてはまる記号1つを○で囲んでください。

- ア. 津波避難対象地域の全域を作成した →付問3-3へ
- イ. 津波避難対象地域の一部を作成した →付問3-2へ

付問3-2(付問3-1でイを回答した場合)全域を作成しなかった理由について、以下に記載してください。

(→回答後、問3-3へ)

市区町村用

付問 3－3（問 3 でア～オを回答した場合）地域ごとの津波避難計画を作成する際に工夫したことについて、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア．津波避難の議論を活発に行えるようワークショップを行った
- イ．地域の危険性や避難経路を把握できるようタウンウォッチングを取り入れた
- ウ．避難訓練の結果を津波避難計画に反映した
- エ．その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 4 へ）

付問 3－4（問 3 でカを回答した場合）地域ごとの津波避難計画を作成していない理由について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア．過去に津波が発生していないため
- イ．防災担当職員の技術不足で対応できないため
- ウ．防災担当の人員不足で手が回らないため
- エ．津波が発生するような地震を想定していないため
- オ．緊急度や優先度が高い他の防災対策があるため
- カ．地理的条件から津波浸水想定区域がないため
- キ．緊急度や優先度の高い防災対策以外の事業があるため
- ク．津波浸水想定区域はあっても砂浜や防風林だけで被害が発生しないため
- ケ．その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 4 へ）

問 4 津波避難計画策定を推進するためにあれば良い支援について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア．国や都道府県が津波避難計画を作成するための技術講習会を開催する
- イ．国や都道府県が津波避難計画作成事業に対する財政支援を行う
- ウ．国や都道府県が津波避難計画策定支援に係るマニュアル・指針を作成し、市区町村に配布する
- エ．国や都道府県が津波避難計画の参考事例を提供する
- オ．その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 5 へ）

【3. 津波ハザードマップ】

問 5 津波ハザードマップを作成しているかについて、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

市区町村用

- ア. 震災前に作成し、震災を踏まえて修正した
 - イ. 震災前に作成し、震災を踏まえて修正中
 - ウ. 震災前に作成し、震災後は修正なし
 - エ. (震災以前に作成していない) 震災以降に作成した
 - オ. (震災以前に作成していない) 震災以降に作成中
 - カ. (震災以前に作成していない) 作成していない
- 付問 5－1 へ
- 付問 5－6 へ

付問 5－1 (問 5 でア～オを回答した場合)直近の津波ハザードマップの作成手法について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 国の「津波災害予測マニュアル」(平成 10 年 3 月作成)に基づいて作成
- イ. 国の「平成 23 年東北地方太平洋沖地震による津波の対策のための津波シミュレーションの手引きについて」(平成 23 年 7 月作成)に基づいて作成
- ウ. 都道府県が作成した津波浸水想定区域図を使用
- エ. 過去の最大津波浸水高によって作成
- オ. その他 (以下に具体的に記載してください)

(→回答後、付問 5－2 へ)

付問 5－2 (問 5 でア～オを回答した場合) 直近の津波ハザードマップに盛り込まれている内容について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 2 つのレベルの津波(「発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波」と「発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波」)を想定した津波浸水想定区域
- イ. 地盤標高ごとの津波浸水想定区域
- ウ. 津波避難場所、津波避難ビルの建物の高さ
- エ. 津波避難対象地域から津波避難場所への避難経路
- オ. その他 (以下に具体的に記載してください)

(→回答後、付問 5－3 へ)

付問 5－3 (問 5 でア～オを回答した場合) 直近の津波ハザードマップの住民への周知方法について、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 全世帯に配布している
 - イ. 津波浸水想定区域の全世帯に配布している
 - ウ. 自主防災組織、町内会等防災リーダーに配布している
 - エ. 希望者のみに配布している
 - オ. 配布せず閲覧のみ (ホームページ含む)
 - カ. 公開していない
- 付問 5－5 へ
- 付問 5－4 へ

市区町村用

キ. その他（以下に具体的に記載してください）

→付問 5－5 へ

付問 5－4（付問 5－3 でカを回答した場合）直近の津波ハザードマップを住民に公開しない理由について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 住民不安を増加させるため
- イ. 津波避難場所・津波避難路が整備されていないため
- ウ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 6 へ）

付問 5－5（付問 5－3 でカ以外を回答した場合）直近の津波ハザードマップの住民への説明会の実施状況について、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 全世帯に行っている
- イ. 津波浸水想定区域の全世帯に行っている
- ウ. 自主防災組織、町内会等防災リーダーに行っている
- エ. 希望者のみに行っている
- オ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 6 へ）

付問 5－6（問 5 でカを回答した場合）津波ハザードマップを作成していない理由について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 過去に津波が発生していないため
- イ. 防災担当職員の技術不足で対応できないため
- ウ. 防災担当の人員不足で手が回らないため
- エ. 津波が発生するような地震を想定していないため
- オ. 緊急度や優先度が高い他の防災対策があるため
- カ. 地理的条件から津波浸水想定区域がないため
- キ. 緊急度や優先度の高い防災対策以外の事業があるため
- ク. 津波浸水想定区域はあっても砂浜や防風林だけで被害が発生しないため
- ケ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 6 へ）

問 6 津波ハザードマップを作成するためにあれば良い支援について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

市区町村用

- ア. 国や都道府県が津波ハザードマップを作成するための技術講習会を開催する
- イ. 国や都道府県が津波ハザードマップ作成事業に対する財政支援を行う
- ウ. 国や都道府県が詳細な津波ハザードマップを作成し、市区町村に配布する
- エ. 国や都道府県が津波ハザードマップの参考事例を提供する
- オ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 7 へ）

【4. 津波避難対象地域等】

※津波避難対象地域とは、津波が発生した場合に避難が必要な地域で、津波浸水想定区域に基づき市町村が指定するものです。安全性の確保、円滑な避難等を考慮して、津波浸水地域よりも広い範囲で指定します。

※津波避難困難地域とは、予想される津波の到達時間までに、避難対象地域の外に避難することが困難な地域をいいます。

問 7 津波避難対象地域の指定について、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 震災前に指定し、震災を踏まえて見直した
 - イ. 震災前に指定し、震災を踏まえて見直し中
 - ウ. 震災前に指定し、震災後は見直していない
 - エ. （震災以前に指定していない）震災以降に指定した
 - オ. （震災以前に指定していない）震災以降に検討中
 - カ. （震災以前に指定していない）指定していない
- 付問 7-1 へ
- 付問 7-2 へ

付問 7-1（問 7 でア～オを回答した場合）津波避難対象地域を指定した際の根拠としたものについて、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 都道府県が作成した津波浸水想定区域図による
- イ. 過去の津波被害による
- ウ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 8 へ）

付問 7-2（問 7 でカを回答した場合）津波避難対象地域を指定しない理由について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 過去に津波が発生していないため
- イ. 津波浸水想定区域図がないため
- ウ. 防災担当の人員不足で手が回らないため
- エ. 防災担当職員の技術不足で対応できないため

市区町村用

オ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 8 〜）

問 8 津波避難困難地域の把握について、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- | | | |
|-----------------------------|---|-------------|
| ア. 震災前に把握し、震災を踏まえて見直した | } | →付問 8 - 1 へ |
| イ. 震災前に把握し、震災を踏まえて見直し中 | | |
| ウ. 震災前に把握し、震災後は見直していない | | |
| エ. (震災以前に把握していない) 震災以降に把握した | | |
| オ. (震災以前に把握していない) 震災以降に検討中 | | |
| カ. (震災以前に把握していない) 把握していない | | →問 9 へ |

付問 8 - 1（問 8 でア～オを回答した場合）津波避難困難地域が解消しない理由について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 近隣に高台や津波避難ビルがない
- イ. 津波避難タワー、防御施設（海岸堤防等）、避難路等、避難施設の建設に費用がかかる
- ウ. 津波避難ビルの指定について所有者等と協議が整わない
- エ. 災害時要援護者への避難対策が進まない
- オ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 9 〜）

【5. 津波避難場所・津波避難路等】

問 9 津波避難場所の指定について、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 震災前に指定し、震災を踏まえて新たな津波浸水想定区域をもとに見直した
- イ. 震災前に指定し、震災を踏まえて新たな津波浸水想定区域をもとに見直し中
- ウ. 震災前に指定し、震災後は見直していない
- エ. (震災以前に指定していない) 震災以降に指定した
- オ. (震災以前に指定していない) 震災以降に検討中
- カ. (震災以前に指定していない) 指定していない

（→回答後、問 10 〜）

問 10 津波避難ビルの指定について、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 震災前に指定し、震災を踏まえて新たな津波浸水想定区域をもとに見直した
- イ. 震災前に指定し、震災を踏まえて新たな津波浸水想定区域をもとに見直し中
- ウ. 震災前に指定し、震災後は見直していない
- エ. (震災以前に指定していない) 震災以降に指定した
- オ. (震災以前に指定していない) 震災以降に検討中

市区町村用

カ. (震災以前に指定していない) 指定していない

(→回答後、問 1 1 へ)

問 1 1 津波避難路の指定について、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 震災前に指定し、震災を踏まえて新たな津波浸水想定区域をもとに見直した
- イ. 震災前に指定し、震災を踏まえて新たな津波浸水想定区域をもとに見直し中
- ウ. 震災前に指定し、震災後は見直していない
- エ. (震災以前に指定していない) 震災以降に指定した
- オ. (震災以前に指定していない) 震災以降に検討中
- カ. (震災以前に指定していない) 指定していない

(→回答後、問 1 2 へ)

問 1 2 指定した津波避難場所、津波避難ビル、津波避難路等への避難標識の設置について、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 震災前に設置し、震災を踏まえて見直した
- イ. 震災前に設置し、震災を踏まえて見直し中
- ウ. 震災前に設置し、震災後は見直していない
- エ. (震災以前に設置していない) 震災以降に設置した
- オ. (震災以前に設置していない) 震災以降に設置中
- カ. (震災以前に設置していない) 設置していない

→付問 1 2 - 1 へ

→問 1 3 へ

付問 1 2 - 1 (問 1 2 でア～オを回答した場合) 貴団体における津波に関する避難標識のデザインについて、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 「防災のための図記号に関する調査検討委員会報告書」(平成 17 年 3 月)にあるデザインを使用している
- イ. 当該都道府県が独自に採用したデザインを使用している
- ウ. 貴団体が独自に採用したデザインを使用している
- エ. 特に決めていない
- オ. その他 (以下に具体的に記載してください)

(→回答後、問 1 3 へ)

問 1 3 夜間避難に関する対応について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 避難路に街路灯を設置した
- イ. 避難標識を夜光塗料によって見やすくした
- ウ. スムーズに避難できるように、夜間避難訓練を実施した
- エ. 対応していない
- オ. その他 (以下に具体的に記載してください)

【6. 初動体制】

問 1 4 津波対策用の職員参集規定があるかどうかについて、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 参集規定がある →問 1 5 へ
- イ. 参集規定がない →付問 1 4 - 1 へ

付問 1 4 - 1 (問 1 4 でイを回答した場合) 参集規定がない理由について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. これまでに災害の経験があるため
- イ. 自己判断に任せているため
- ウ. 決め事はあるが明文化されていないため
- エ. その他 (以下に具体的に記載してください)

(→回答後、問 1 5 へ)

問 1 5 勤務時間外に防災担当職員を参集させるための情報伝達手段について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 電話 (携帯を含む)
- イ. 防災行政無線 (屋外拡声器)
- ウ. 防災行政無線 (戸別受信機)
- エ. 防災メール (津波警報等を自動で配信する仕組み)
- オ. 各自、テレビやラジオからの情報を入手 (自主参集のため情報を伝達しない)
- カ. その他 (以下に具体的に記載してください)

(→回答後、問 1 6 へ)

問 1 6 避難指示・勧告の発令時期について、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 大津波警報・津波警報又は津波注意報を受けて、首長の判断で発令
- イ. 大津波警報・津波警報又は津波注意報を受けて、自動的に発令 (事前に取り決め)
- ウ. その他 (以下に具体的に記載してください)

(→回答後、問 1 7 へ)

市区町村用

【7. 情報収集伝達手段】

問17 貴団体における津波情報の収集手段について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 全国瞬時警報システム（J－ALERT）
- イ. 気象庁の防災情報提供システム（インターネット）
- ウ. 気象庁の防災情報提供システム（専用線）
- エ. 気象庁からのFAX
- オ. 地域衛星通信ネットワーク等を用いた都道府県独自のシステム
- カ. 都道府県からの電話
- キ. 都道府県からのFAX
- ク. 都道府県からのメール
- ケ. テレビ
- コ. ラジオ
- サ. 各種ホームページ
- シ. 民間気象会社からの連絡
- ス. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問18へ）

問18 貴団体における津波情報及び避難指示・勧告の住民への伝達手段について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 防災行政無線（屋外拡声器）
- イ. 防災行政無線（戸別受信機）
- ウ. 登録制メール
- エ. 緊急通報メール
- オ. ホームページへの掲載
- カ. コミュニティFM
- キ. ケーブルテレビ
- ク. IP告知放送
- ケ. 半鐘・サイレン
- コ. 広報車での巡回
- サ. 消防団等による広報
- シ. 報道機関の活用
- ス. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問19へ）

問19 勤務時間外において、職員が参集しなくても津波情報及び避難指示・勧告を自動で伝達できる手段について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

市区町村用

- ア. 防災行政無線（屋外拡声器）
- イ. 防災行政無線（戸別受信機）
- ウ. 登録制メール
- エ. 緊急通報メール
- オ. ホームページへの掲載
- カ. コミュニティFM
- キ. ケーブルテレビ
- ク. IP告知放送
- ケ. 半鐘・サイレン
- コ. 広報車での巡回
- サ. 消防団等による広報
- シ. 報道機関の活用
- ス. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問20へ）

【8. 津波避難訓練・防災啓発】

問20 津波避難訓練の実施状況について、以下の中であてはまる記号1つを○で囲んでください。

- ア. 毎年実施している
 - イ. 毎年ではないが実施している
 - ウ. 実施していない
- 付問20-1へ
- 付問20-4へ

付問20-1（問20でア～イを回答した場合）直近で行った津波避難訓練の訓練項目について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 市区町村の広報車等による情報伝達
- イ. 消防団（広報）による情報伝達
- ウ. CATV、コミュニティFMによる情報伝達
- エ. 緊急通報メールによる情報伝達
- オ. 防災行政無線による情報伝達
- カ. 消防団による避難誘導
- キ. 水門の閉鎖
- ク. 自治体で指定された避難先への避難
- ケ. 自治体で指定されていない民間の津波避難ビル等への避難
- コ. 災害時要援護者を対象とした避難
- サ. 図上訓練
- シ. 都道府県との情報伝達
- ス. 自衛隊との情報伝達
- セ. 他の市区町村との情報伝達

市区町村用

- ソ. 国の機関（自衛隊除く）との情報伝達
- タ. 支所との情報伝達
- チ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、付問 20－2 へ）

付問 20－2（問 20 でア～イを回答した場合）直近で行った津波避難訓練に一般住民以外で参加した団体について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 消防本部
- イ. 消防団
- ウ. 警察
- エ. 自衛隊
- オ. 海上保安庁
- カ. 漁協
- キ. ライフライン企業
- ク. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、付問 20－3 へ）

付問 20－3（問 20 でア～イを回答した場合）貴団体における津波避難訓練への参加率を上げるための工夫について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 訓練実施に関するビラや広報誌、HP 等で宣伝した
- イ. 小・中学校等において児童・生徒に周知した
- ウ. 自治会・子供会等で広く周知した
- エ. 民間企業等に広く周知した
- オ. 防災行政無線で事前に周知した
- カ. その他（以下に具体的に記載してください）

（→回答後、問 21 へ）

付問 20－4（問 20 でウを回答した場合）津波避難訓練を**実施しない理由**について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 過去に津波が発生していないため
- イ. 防災担当職員の技術不足で対応できないため
- ウ. 防災担当の人員不足で手が回らないため
- エ. 津波が発生するような地震を想定していないため
- オ. 緊急度や優先度が高い他の防災対策があるため

市区町村用

- カ. 地理的条件から津波浸水想定区域がないため
- キ. 緊急度や優先度の高い防災対策以外の事業があるため
- ク. 津波浸水想定区域はあっても砂浜や防風林だけで被害が発生しないため
- ケ. その他（以下に具体的に記載してください）

(→回答後、問 2 1 へ)

問 2 1 貴団体で行っている津波に関する防災啓発において、特に力を入れている対象者について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 幼稚園児・保育園児
- イ. 小・中学生
- ウ. 高校生・大学生
- エ. 園児・児童・生徒の保護者
- オ. 災害ボランティア
- カ. 自主防災組織、自治会
- キ. 消防団員
- ク. 民間事業所関係者
- ケ. 特になし
- コ. その他（以下に具体的に記載してください）

(→回答後、問 2 2 へ)

問 2 2 貴団体で行っている津波に関する防災啓発の方法について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 研修会の開催
- イ. 防災担当職員等の派遣による出前講座
- ウ. ワークショップの開催（図上訓練、タウンウォッチングを含む）
- エ. 学校の授業における講話
- オ. 学校の授業における調べ学習
- カ. e ラーニング
- キ. 東日本大震災等の津波避難に関する体験談等の冊子教材を配付
- ク. 東日本大震災等の津波避難に関する実際の体験談を聞く
- ケ. 東日本大震災等の津波襲来映像を見せる
- コ. 津波シミュレーション結果を用いた啓発
- サ. その他（以下に具体的に記載してください）

(→回答後、問 2 3 へ)

市区町村用

問 2 3 貴団体で行っている津波に関する防災啓発において特に力を入れている内容について、以下の中であてはまる記号を○で囲んでください。(最大3つまで)

- ア. 津波災害の基礎知識（例：津波は繰り返し押し寄せるなど）
- イ. 貴団体における津波到達までの避難猶予時間及び津波の高さ
- ウ. 津波避難対象地域、津波避難場所、津波避難ビル、避難経路
- エ. 主体的な避難の重要性
- オ. 日頃からの津波避難のための備え（例：非常用持出品の準備、家族会議など）
- カ. 住宅の耐震化
- キ. 家具の固定
- ク. その他（以下に具体的に記載してください）

(→回答後、問 2 4へ)

【9. その他の津波防災対策】

問 2 4 貴団体におけるその他の津波防災対策のうち、以下の項目ごとに、それぞれア～カの中であてはまる記号1つを○で囲んでください。

	震災前から整備			震災前は未整備		整備なし
	震災を踏まえて、見直した	震災を踏まえて、見直し中	震災以降、見直していない	震災以降、整備	震災以降、整備中	
(1)地元マスコミとの連携	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(2)国・都道府県、近隣自治体との連携	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(3)自主防災組織の結成・育成	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(4)災害時要援護者対策	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(5)海拔表示標識の設置	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(6)浸水高表示標識の設置	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(7)潮位・津波観測機器の設置	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
(8)海面監視カメラの設置	ア	イ	ウ	エ	オ	カ

(→回答後、問 2 5へ)

問 2 5 地域防災計画・津波避難計画等において、避難指示等の呼びかけを行う者、水門の閉鎖に当たる者等の防災事務に従事する者の安全確保について定めているかについて、以下の中であてはまる記号 1 つを○で囲んでください。

- ア. 震災前から定めており、震災を踏まえて修正した
 - イ. 震災前から定めており、震災を踏まえて修正中
 - ウ. 震災前から定めており、震災後は修正なし
 - エ. (震災以前に定めておらず) 震災以降に定めた
 - オ. (震災以前に定めておらず) 震災以降に検討中
 - カ. (震災以前に定めておらず) 定めていない
- 付問 2 5 - 1 へ
- 問 2 6 へ

付問 2 5 - 1 (問 2 5 でア～オを回答した場合) 防災事務に従事する者の安全確保に関する記載内容について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. ライフジャケット等津波災害対応用品の配備
- イ. トランシーバー等情報収集伝達手段に関する機器の配備
- ウ. 危険を感じた時は水門閉鎖や避難誘導中でもすぐに逃げる
- エ. 津波到達予想時刻には避難を完了すること
- オ. その他 (以下に具体的に記載してください)

(→回答後、問 2 6 へ)

問 2 6 貴団体における観光客等への避難対策について、以下の中であてはまる記号全てを○で囲んでください。

- ア. 防災行政無線 (屋外拡声器) を用いた津波避難に関するアナウンス
- イ. 避難場所標識 (看板) の作成
- ウ. 災害情報掲示板の設置 (電光掲示板等)
- エ. ビラの作成・配布
- オ. 観光客用津波避難計画の作成
- カ. 津波避難訓練の際に観光客に参加してもらう
- キ. 地域観光産業従事者やライフセーバー等への防災教育
- ク. オレンジフラッグなどによる視覚情報
- ケ. 観光客への特別な対応は行っていない
- コ. その他 (以下に具体的に記載してください)

ご協力いただき、ありがとうございました。